

(2) 社会生活

- ① 主従の関係（現代の私たちに適用すると、経営者と労働者との関係）・・・労働者である信者は、雇用契約を守り、誠実に仕事をする。経営者である信者は、労働者を脅すようなことをせず、公平に扱う。
- エペソ 6:5~8 奴隷たちよ。キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。ご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、キリストのしもべとして心から神のみこころを行い、人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。奴隷であっても自由人であっても、良いことを行えば、それぞれ主からその報いを受けることを、あなたがたは知っています。
 - エペソ 6:9 主人たちよ。あなたがたも奴隷に対して同じようにしなさい。脅すことはやめなさい。あなたがたは、彼らの主、またあなたがたの主が天におられ、主は人を差別なさないことを知っているのです。
 - コロ 3:22~25 奴隷たちよ。すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。何をするにしても、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。不正を行う者は、自分が行った不正を報いとして受け取ることになります。不公平な扱いはありません。
 - コロ 4:1 主人たちよ。あなたがたは、自分たちも天に主人を持つ者だと知っているのですから、奴隷に対して正義と公平を示しなさい。
 - I ペテ 2:18 しもべたちよ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。

- ② 勤労倫理・・・信者は、この世を愛することなく、メシアの再臨を待ち望む者であるが、だからといって仕事や生活において無責任になってはならない。落ち着いた生活をする、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉とする。

注：「世」には3つの意味がある。「世を愛さない」というときの世は、サタンが人間社会を支配するためのシステムそのものを意味する。詳しくは、2023年10月22日 熊本集会の学び「スピリチュアル・ライフ/霊的戦い/霊的戦いの三つの前線/第三の前線/世に対する戦い①」を参照ください

- Iテサ4:11~12 また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。外の人々に対して品位をもって歩み、だれの世話にもならず生活するためです。
- IIテサ3:6~15 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟は、みな避けなさい。
 どのように私たちを見習うべきか、あなたがた自身知っているのです。あなたがたの間で、私たちは怠惰に暮らすことはなく、人からただもらったパンを食べることもしませんでした。むしろ、あなたがたのだれにも負担をかけないように、夜昼、勞し苦しみながら働きました。
 私たちに権利がなかったからではなく、あなたがたが私たちを見習うように、身をもって模範を示すためでした。
 あなたがたのところに行ったとき、働きたくない者は食べるな、と私たちは命じました。ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。そのような人たちには、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。
 落ち着いた仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。
 兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをしなさい。もし、この手紙に書いた私たちのことばに従わない者がいれば、そのような人には注意を払い、交際しないようにしなさい。
 その人が恥じ入るようになるためです。しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい。

(3) 家庭生活

① 夫婦の関係・・・夫は妻を理解し、愛する。妻は夫に従う。たとえ、不信者の夫であっても。

- エペソ 5:22~24 **妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。**
キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。教会がキリストに従うように、妻も**すべてにおいて夫に従いなさい。**
- エペソ 5:25~33a **夫たちよ。**キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも**妻を愛しなさい。**
キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。
同様に夫たちも、**自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。**自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。いまだかつて自分の身を憎んだ人はいません。むしろ、それを養い育てます。
キリストも教会に対してそのようになさるのです。私たちはキリストのからだの部分だからです。
「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです。
それはそれとして、**あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。**
- エペソ 5:33b **妻もまた、自分の夫を敬いなさい。**
- コロ 3:18~19 **妻たちよ。主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。夫たちよ。妻を愛しなさい。妻に対して辛く当たってはいけません。**
- Iペテ 3:1~6 **同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとされるためです。夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目**

にするのです。あなたがたの飾りは、髪を編んだり金の飾りを付けたり、服を着飾ったりする外面的なものであってはいけません。むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人を飾りとしなさい。それこそ、神の御前で価値あるものです。かつて、神に望みを置いた敬虔な女の人たちも、そのように自分を飾って、夫に従ったのです。たとえば、サラはアブラハムを主と呼んで従いました。どんなことも恐れなくて善を行うなら、あなたがたはサラの子です。

- Iペテ 3:7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みをもとに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたの祈りは妨げられません。

② 親子の関係・・・子は親に従う。親は子を怒らせない。

- エペ 6:1~3 子どもたちよ。主にあつて両親に従いなさい。これは正しいことなのです。「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。
- エペ 6:4 父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。
- コロ 3:20 子どもたちよ、すべてのことについて両親に従いなさい。それは主に喜ばれることなのです。
- コロ 3:21 父たちよ。子どもたちを苛立たせてはいけません。その子どもたちが意欲を失わないようにするためです。

(4) 教会生活

① 信者は、教会の長老たちに従う

- Iテサ 5:12~13a 兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、その働きゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。
- ヘブル 13:7 神のことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、覚えていなさい。彼らの生き方から生まれたものをよく見て、その信仰に倣いなさい。
- ヘブル 13:17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。
- Iペテ 5:5 同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。

② 教会は、福音宣教の使命を持つ

- 使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。
- ロマ 1:14~15 私は、ギリシア人にも未開の人にも、知識のある人にも知識のない人にも、負い目のある者です。ですから私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。
- IIコリ 5:18~20 これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。すなわち、神はキリストにあつて、この世をご自

分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、**和解のことばを私たちに委ねられました。** こういうわけで、神が私たちを通して勤めておられるのですから、**私たちはキリストに代わる使節**なのです。私たちは**キリストに代わって**願います。神と和解させていただきなさい。

- 宣教しようとする地域にユダヤ人がいれば、先ずユダヤ人に(ロマ 1:16)

③ 教会は、兄弟愛の集団である

- ヨハネ 13:34~35 わたしはあなたがたに**新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。**わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。
- ロマ 12:9~10 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れないようにしなさい。**兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手を手がけた者として尊敬し合いなさい。**
- エペソ 4:1~3 さて、主にある四人の私はあなたがたに勧めます。あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、**愛をもって互いに耐え忍び、平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。**
- エペソ 5:1~2 ですから、愛されている子どもらしく、神に倣う者となりなさい。また、**愛のうちに歩みなさい。**キリストも私たちを愛して、私たちのために、ご自分を神へのささげ物、またいけにえとし、芳ばしい香りを献げてくださいました。
- Iテサ 4:9~10 **兄弟愛**については、あなたがたに書き送る必要はありません。あなたがたこそ、**互いに愛し合う**ことを神から教えられた人たちで、マケドニア全土のすべての兄弟たちに対して、それを実行しているからです。兄弟たち、あなたがたに勧めます。ますます豊かにそれを行いなさい。
- ヘブル 13:1 **兄弟愛**をいつも持っていなさい。

- I ペテ 3:8~9 最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、**兄弟愛**を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。
- I ペテロ 4:8~9 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。何よりもまず、**互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。**
- I ヨハ 3:14 私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。**兄弟を愛している**からです。愛さない者は死のうちにとどまっています。
- I ヨハ 3:17~18 この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。子どもたち。私たちは、**ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。**
- I ヨハ 4:7 愛する者たち。**私たちは互いに愛し合きましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。**
- I ヨハ 4:11 **愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。**

④ 信者は、仲間の信者に対する義務を負う

- I コリ 12:26 一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。
- エペソ 4:31~32 無慈悲、憤り、怒り、怒号、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。
- エペソ 5:21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。
- エペソ 6:18 あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。
- ピリピ 2:3~4 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。
- コロ 3:12~14 ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。互いに忍耐し合い、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。
- I テサ 4:3~6 神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。あなたがたが淫らな行いを避け、一人ひとりがわきまえて、自分のからだを聖なる尊いものとして保ち、神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、また、そのようなことで、兄弟を踏みつけたり欺いたりしないことです。私たちが前もってあなたがたに話し、厳しく警告しておいたように、主はこれらすべてのことについて罰を与える方だからです。

- Iテサ 5:5~11 **あなたがたはみな、光の子ども、昼の子ども**なのです。私たちは夜の者、闇の者ではありません。ですから、ほかの者たちのように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいきましょう。眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのです。
しかし、私たちは昼の者なので、**信仰と愛の胸当てを着け、救いの望みというかぶとをかぶり、身を慎んでいきましょう**。神は、私たちが御怒りを受けられるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。ですからあなたがたは、現に行っているとおり、**互いに励まし合い、互いを高め合いなさい**。
- ヤコブ 4:11~12 **兄弟たち、互いに悪口を言い合ってははいけません**。自分の**兄弟について悪口を言ったり、さばいたりする者は、律法について悪口を言い、律法をさばいているのです**。もしあなたが律法をさばくなら、律法を行う者ではなく、さばく者です。律法を定め、さばきを行う方はただひとりで、救うことも滅ぼすこともできる方です。**隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか**。

「律法について悪口を言い、律法をさばく」・・・ここでヤコブがいう「律法」とは、モーセの律法ではない。新約時代の信者の生活ルールとなる律法を指している。ヤコブの手紙の中では、ヤコブ 2:8の「王的な律法」、すなわち「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」と、ヤコブ 2:12「自由の律法」=ヤコブ 1:25「完全な律法」は、メシアの律法を指す。

- ⑤ 強い信者は、**弱い信者に対する特別な義務**を負う（ロマ 14:1~15:2）
 - 信仰の強い信者は、弱い信者を受け入れる義務を負う。弱い信者の意見をさばいてはいけない（ロマ 14:1）
 - 弱い信者を見下してはいけない（ロマ 14:3）
 - 弱い信者をつまずかせてはいけない（ロマ 14:21、23）
 - 信仰の弱い信者は、強い信者をさばいてはいけない（ロマ 14:3）

⑥ 「霊的な人」、すなわち霊的に成長して大人になっている信者は、**過ちに陥っている信者**に対応する責任がある

- その人と距離を置く

ロマ 16：17～18 兄弟たち、私はあなたがたに勧めます。あなたがたの学んだ教えに背いて、分裂とつまずきをもたらす者たちを警戒しなさい。彼らから遠ざかりなさい。そのような者たちは、私たちの主キリストにではなく、自分の欲望に仕えているのです。彼らは、滑らかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましています。

- 柔和な心で正し、自分自身も誘惑に陥らないように気をつける

ガラ 6：1 兄弟たち、もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

⑦ 「霊的な人」、すなわち霊的に成長して大人になっている信者は、**怠惰な信者**に対応する責任がある

- 怠惰な者に対しては諭す

Iテサ 5：14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。**怠惰な者を諭し**、小さな者を励まし、弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。

- その人と距離を置き、諭し、自分で働くように命じる。それでも従わないなら、その人に注意を払い、交際しないようにする。しかし敵としてではなく、兄弟として引き続き、諭す。

IIテサ 3：6 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟は、**みな避けなさい**。

IIテサ 3：11～15 ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいる

と聞いています。そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをなさい。もし、この手紙に書いた私たちのことばに従わない者がいれば、そのような人には注意を払い、交際しないようにしなさい。その人が恥じ入るようになるためです。しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい。

- ⑧ 「霊的な人」、すなわち霊的に成長して大人になっている信者は、「聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために戦う」(ユダ 3)、すなわち新約聖書に記された使徒たちの教えを守り戦う責任がある。使徒たちの教えを否定する誤った教えに惑わされる信者たちに対応する段階には、3つある。

- 3つの段階とその対応

第一段階 疑いを抱く段階 ⇒ あわれむ

第二段階 偽教師についていく段階 ⇒ 火の中からつかみ出して救う

第三段階 偽の教えを積極的に広めようとする段階 ⇒ 忌み嫌う(明確に距離を置き、かかわるときは十分に注意する)、神を恐れつつ、あわれむ

ユダ 22～23 ある人々が疑いを抱くなら、その人たちをあわれみなさい。ほかの人たちは、火の中からつかみ出して救い出さなさい。

また、ほかの人たちは、肉によって汚された下着さえ忌み嫌い、神を恐れつつあわれみなさい。

5. 旧約聖書の中の十戒と、メシアの律法との比較

(1) 旧約聖書の中の十戒

- ① 十戒は、モーセの律法の一部。モーセの律法が終了した時点で、十戒も終了した。
- ② 十戒は、旧約聖書の中の永遠の原則ではない。

(2) 十戒とメシアの律法との関係

- ① 十戒の内容と似たものが、メシアの律法の中にもある。私たちは、十戒に従うのではなく、メシアの律法に従う。
- ② 十戒の10の規定項目のうち、メシアの律法にも似た内容があるのは、9つ。メシアの律法にない規定項目は、「安息日」。
- ③ 【補足】十戒のうち、五番目の「父と母を敬え」は、アブラハム契約の土地の約束と関係している。
 - あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。（出 20 : 12）
 - よって、モーセの律法が終了しても、アブラハム契約の土地の約束との関係において、両親を敬うことは大切な生活ルールとしてメシアの律法にも設けられる。→エペソ 6 : 1~3 **子どもたちよ。主にあつて自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。**

(3) 十戒とメシアの律法の対照表（巻末資料を参照ください）

十戒とメシアの律法の対照表

	十戒	メシアの律法
1	あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。(出 20 : 3)	あなたがたがこのような空しいことから離れて、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた生ける神に立ち返るように、福音を宣べ伝えているのです。(使 14 : 15)
2	あなたは自分の偶像を造ってはならない。それらを拝んではならない。(出 20 : 4~6)	子どもたち、偶像から自分を守りなさい。(Iヨハ 5 : 21)
3	あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。(出 20 : 7)	とりわけ、誓うことはやめなさい。天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても誓ってはいけません。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。そうすれば、さばきにあうことはありません。(ヤコブ 5 : 12)
4	安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。(出 20 : 8~11)	
5	あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。(出 20 : 12)	子どもたちよ。主にあって自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。(エペ 6 : 1~3) 【注：土地の約束は、シナイ契約ではなく、アブラハム契約によるもの。シナイ契約・モーセの律法は終了しても、アブラハム契約は有効である】

6	殺してはならない。(出 20 : 13)	<p>互いに愛し合うべきであること、それが、あなたがたが初めから聞いている使信です。カインのようになってはいけません。彼は悪い者から出た者で、自分の兄弟を殺しました。なぜ殺したのでしょうか。自分の行いが悪く、兄弟の行いが正しかったからです。兄弟たち。世があなたがたを憎んでも、驚いてはなりません。私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛さない者は死のうちにとどまっています。兄弟を憎む者はみな、人殺しです。あなたがたが知っているように、<u>だれでも人を殺す者に、永遠のいのちがとどまることはありません</u>。キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人にあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているのでしょうか。子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。</p> <p>(I ヨハ 3 : 11~18)</p>
7	姦淫してはならない。(出 20 : 14)	<p>淫らな行いを避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のもので。しかし、淫らなことを行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。あなたがたは代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現わしなさい。(I コリ 6 : 18~20)</p>

8	盗んではならない。(出 20 : 15)	盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。(エペソ 4 : 28)
9	偽りの証言をしてはならない(出 20 : 16)	互いに偽りを言ってはなりません。(コロ 3 : 9)
10	あなたの隣人の家を欲してはならない。すべて隣人のものを欲してはならない。(出 20 : 17)	あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、淫らな行いも、どんな汚れも、また <u>貪り</u> も、口にすることさえしてはいけません。(エペソ 5 : 3)